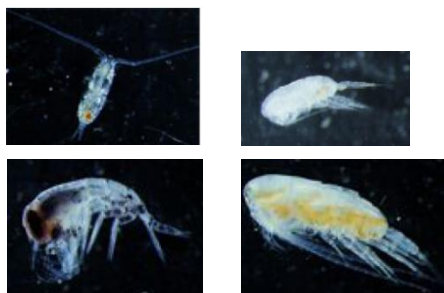


## サケ稚魚放流情報 No. 4



令和 5 年 4 月 4 日  
 岩手県水産技術センター  
 漁業資源部  
 TEL: 0193-26-7915  
 FAX: 0193-26-7920

湾内の表面水温は7～9℃台であり、各湾で平年よりも2℃程度高め傾向です。黒潮の勢力が強い状況が続いており、今後も水温が高めに推移すると予測されます。

動物プランクトンは、大船渡湾、越喜来湾及び唐丹湾で平年及び前年よりも多く、他の各湾では平年並から少なめの傾向です。

本県沿岸域に到達した親潮が後退傾向であることから、今後も沿岸水温が上昇していくと見られます。放流サイズに育った稚魚(2.0～4.0g程度)<sup>\*1</sup>については、適宜放流を進めてください。

### 1 表面水温(℃)

	野田湾 <sup>*2</sup>	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/28, 29)	7.6	8.2	8.8	8.2	8.4	9.2
平年 <sup>*3</sup>	-	6.4	6.2	5.5	5.9	6.9
前年同期	5.3	4.9	4.6	4.6	3.3	5.1

各湾の表面水温は7～9℃台で、各湾で平年より2℃程度高めとなっています。本県沿岸域に到達した親潮が後退する傾向にある一方で、北上する黒潮の勢力が強く、県南部沿岸に到達する見込みであることから、今後も水温が高めに推移すると予測されます。

### 2 動物プランクトン沈殿量(ノルパックネット鉛直20m曳き、mL/m<sup>3</sup>)

	野田湾 <sup>*2</sup>	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/6, 7)	0.24	0.73	0.66	0.63	0.80	1.84
平年 <sup>*3</sup>	-	0.76	0.67	0.49	0.52	0.96
前年同期	0.60	0.62	0.66	0.56	0.55	0.53

全体的に沈殿量が増加傾向となる時期ですが、大船渡湾、越喜来湾及び唐丹湾における沈殿量は平年及び前年同期を上回り、増加傾向にあります。他の各湾では平年並から少なめの傾向であり、特に野田湾では、2月上旬以降、少ない傾向が続いています。

### 3 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査(5湾)及び当センター並びに沿岸広域振興局水産部による野田湾の観測調査(図赤枠)によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ(<https://www.suigi.pref.iwate.jp/>)の定地水温情報・衛星画像や当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

※1 これまでの本県の放流実績から、放流の重心を3月下旬に設定し2.0g以上のサイズで放した年級の回帰率が高い。

※2 野田湾は3月20日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを2回曳いて測定。

※3 平年は過去18～20年間の同期の平均値。野田湾はH17、H19の北上丸及び県北水産部の調査結果の平均値。

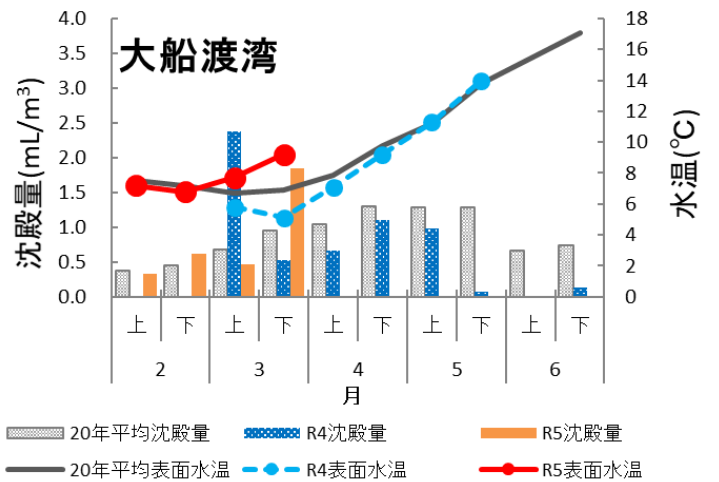
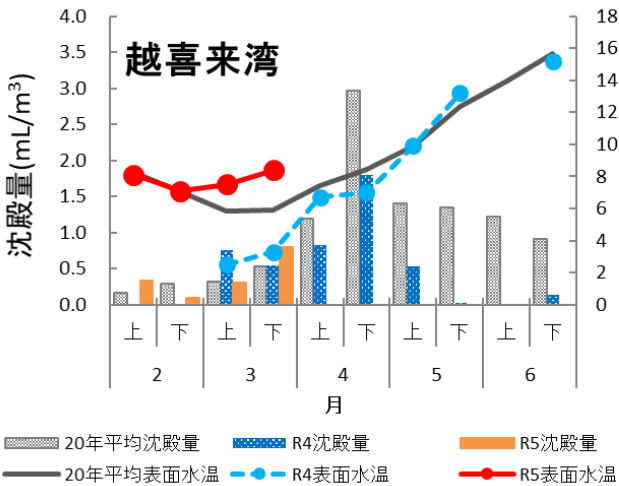
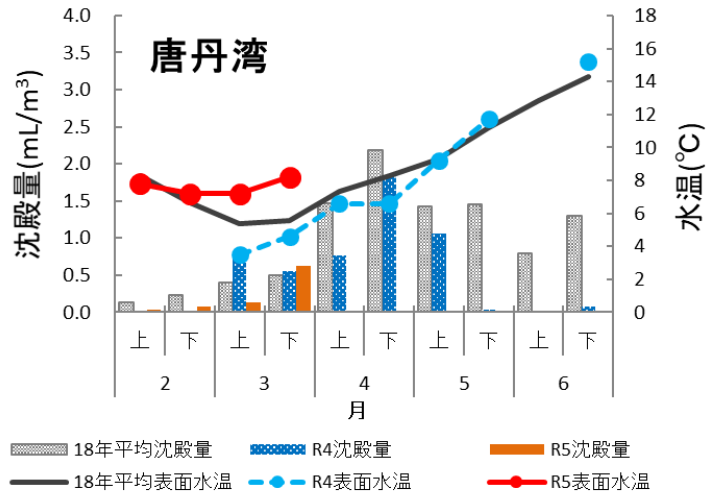
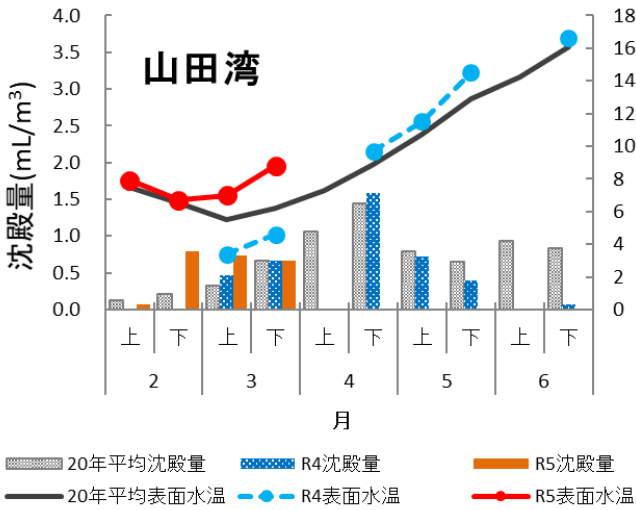
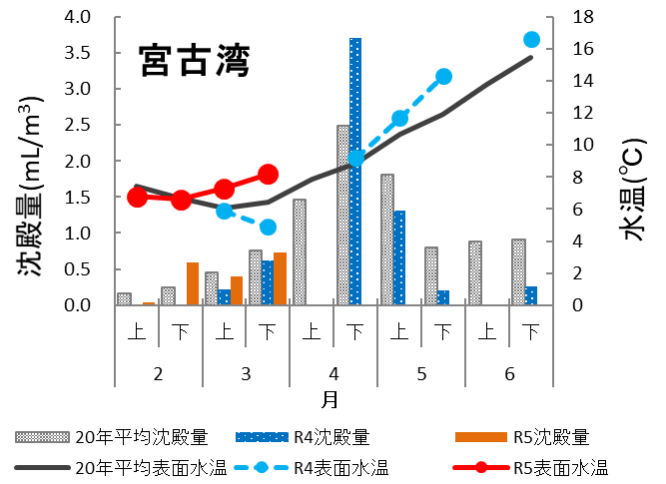
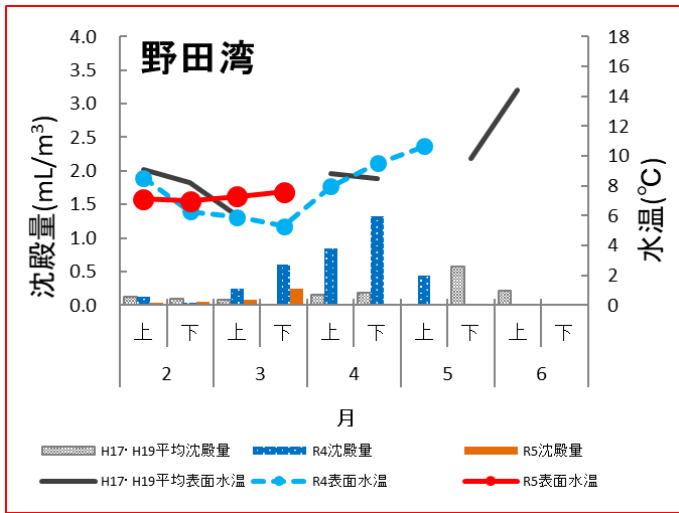


図 6 湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の季節変化  
 ※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。